

# 会 議 録

## 1 会議名

令和4年度第6回保倉区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

【協議事項】地域の課題について（公開）

## 3 開催日時

令和4年12月8日（木）午後6時00分から午後7時14分

## 4 開催場所

上越市立保倉地区公民館 研修室

## 5 傍聴人の数

0人

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委員： 丸山隆夫（会長）、池田つえ子（副会長）、今井二三夫、河瀬青志、  
佐野 宏、宮崎邦夫、（欠席者6名）

・事務局： 北部まちづくりセンター：中村センター長、小川係長、千田主任

## 8 発言の内容

### 【中村センター長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

### 【丸山会長】

- ・挨拶
  - ・会議録の確認：河瀬委員、佐野宏委員に依頼
- 議題【協議事項】地域の課題について、事務局へ説明を求める。

### 【千田主任】

- ・資料No.1 「保倉地区町内会長連絡協議会との意見交換の結果について」及び、  
前回資料No.2 「保倉区における『地域活性化の方向性』の作成について（案）」に基づ

き説明

【丸山会長】

事務局の説明のとおりであるが、町内会長連絡協議会と話し合ったが、明るくなるような案件はなかなか出てこなかった。

説明に対し、質疑を求める。

【佐野宏委員】

地域活性化の方向性の前にお聞きしたいのだが、こういったテーマで話を進めようとしているが、令和5年度までのスケジュールはどのように考えているのか。つまり、今、会長が言われるようになかなか地域活性化に関するテーマが出てこない。では、テーマを出すにはどうしたらよいか。令和5年度については予算に提案してある。これから話し合うものは、令和6年度以降の分か。予算に対してのテーマはどうするのか。例えば、スケジュールとして、3月末までに方向性を決めなくてはならないとか、6月頃までに保倉区としての案を出して進めていくかとか、出なかったらどうなるのか、この辺が、よくわからないので、「意見を出してください」と言われても難しいし、北諏訪区と同様の手法だと、どんどん時間が過ぎていってしまうと思う。だから、事務局として今後どのようなスケジュールで考えているか教えてほしい。

【中村センター長】

・前回資料No.2「保倉区における地域活性化の方向性の作成について（案）」に基づき説明

【佐野宏委員】

件数に制限はあるのか。4月までに決まった後で、やりたいことが再度出てきた場合に追加することは可能なのか。

【中村センター長】

確認だが、件数とは構成要素の話でよろしいか。構成要素に関しては、3から5件くらいかと考えている。これに追加するのは、地域協議会で決定するまでの協議の段階であれば、追加は可能である。

【佐野宏委員】

秋には予算の関係で審査が入るため、9月には予算決定しないといけないと思うのだが。その辺はどうなっているのか。

【千田主任】

9月までというのは、地域独自予算のことかと思うが、地域活性化の方向性とは関連する部分もあるが、本来別のものである。地域活性化の方向性で出たものが、地域独自予算を考える上での土台になっていくかと思うが、これは別のものなので、9月までに作らなくてはならないというものではない。

**【中村センター長】**

補足だが、地域活性化の方向性に項目としてあがっていないものを、地域独自の予算に提案してはいけない、逆に地域独自の予算に提案するものは、地域活性化の方向性に入れ込まなくてはならないという制限はない。考え方の土台として、定めていくのが地域活性化の方向性である。独自予算は来年度については、これまでの地域活動支援事業、地域の活動をバックアップするという意味では完全なイコールではないが、それに準じたものと考えていただいて差し支えないと思う。地域活性化の方向性が定まらないうちは、独自予算を提案できないということではないので、時期的な制限はない。

**【池田副会長】**

構成要素の例がいろいろあがっているが、この中の「子どもからお年寄りまで笑顔で交流できる地域の営み」というのは、今までで言えば体育大会や綱引きだったり、バレーボールだったり、皆で応援できたりするものが該当したと思う。それが、小学校の体育祭は学校主体で行うということで地域は関係ない形になる。そういうものを皆で継続していくために何をしたらよいか。例えば、地域独自の予算では、ハードのみの備品の購入や施設の整備は厳しいが、イベントをするために体育館を借りることは経費にあたるのではないか。問題は保倉区として何をしたら皆が元気になるかということで、今は、そのための案を私たちも考える段階なのだと思う。

**【佐野宏委員】**

池田副会長の言われることはわかる。それには、皆さんの意見を聞こうということだと思う。北諏訪区でとったアンケートの結果は既に出ているのか。保倉区の皆さんにこのアンケートを出しても回答率が心配である。差し支えなければ、北諏訪区での回答率をお聞きしたい。

**【千田主任】**

北諏訪区では3件の回答があった。有田区でも同様のアンケートで、5件の回答があった。出された意見の大半は、たよりの裏にある委員の意見と同様のものや内容をもう少し膨らませた意見であった。

### 【池田副会長】

意見が出るかどうかはわからないが、私たちの年代で考えることと、もっと若い世代の方が考えることが同じなのか、全く違う方向の話が出てくるのか。何か出てくればよいと思う。

### 【佐野宏委員】

出てくればよいと言うが、なかなか難しいと思う。例えば、たたき台になるようなものを地域協議会で提案し、地域の方に選んでもらうのもよいのではないかと思う。地域協議会でも意見が出てこないのに、地域の皆さんに考えてくださいと言っても、仕組みや、お金の絡みもわからない状態では難しいと思う。北諏訪区の例が、素直な住民の回答だと思う。

保倉区的地域協議会としてやり方をどうするか、1つはアンケート方式があるし、今言ったように逆提案で地域協議会の皆さんでいろいろなことを考えて、地域協議会としての意見と、そこにプラスして町内会長連絡協議会では何かないかと聞いて、それを組み合わせて出すといったやり方の2通りではないか。

### 【今井委員】

町内会長と話をして、これをやろうといった具体的な意見が出なかった。今、住民からアンケートをとっても、意見が出てこないような気がする。30代、40代の活性化してくれる人の意見が出ればよいが、若い人もなかなか協力してくれないと思うので難しいと思う。

### 【河瀬委員】

コロナ禍の影響で、皆がマイナス思考になっている。私は、コロナが収まってもこのままの状況でいくのではないかと思う。段々、地域の活動が少なくなっていくのではないか。ただ、アンケートをとることは必要だと思う。実際に行ってみないと皆さんからどういった意見が出るかわからないし、1回アンケートをとってみることは大事なことはないかと思う。その中で、もう一度見直していけばよいのではないか。確かに、佐野宏委員の言われるようになかなか出せるものではないので、ある程度、例をあげて出したほうが、住民も意見が出しやすいと思う。

それと、剣の舞についてだが、青野芸能保存会で毎月第2金曜日に練習をしている。高齢者ばかりで、若い人がなかなかいない。4年位前に長野で同じように剣の舞を続けているというところがあったので見に行ってきた。そこでは、20代の方が大勢参加し

ていたが、そこも人手が足りなくて、他の地区から借りてきてイベントを行っている状況だった。小学校で5年生を対象に教えに行っているが、せっかく小学生を対象にしてやっているのに、1年だけで終わるのではなくて、終わった後でも中学生、高校生になってもつなげられるような仕組みづくりをしていかないと、単に5年生になったから、剣の舞をやるというのではなく、つながっていけるような仕組みづくりをしていかないと、伝統芸能は継承できないのではないかと。

#### 【宮崎委員】

保倉区で何かというのは、今までかろうじて体育祭があったり、球技大会があったりで繋がっていた。青年会もないし、老人会もない。町内としてなら、時期の行事はある。保倉区としては、もともと子どもの頃からこの地で過ごした仲間がいるというだけで、今の若い人が特にやりたいとか、やらなくてはならないとか、そういう考えはない。だから、町内会長連絡協議会との話でもあったとおり、何かやろうとしても人が集まらない。そういった実状の中で地域協議会委員に地域で何かやることを考えてほしいと言われても、なかなか出てこないと思う。私も町内会長を経験しているが、保倉区として困っていることや、何かやろうということを町内会長連絡協議会で取り組んでいた。今もそうだと思う。

#### 【丸山会長】

若者に聞いてみたらどうか。北諏訪区のようにアンケートをして、1件でも2件でも意見が出れば、それでも違うのではないかと。私たちの世代は気力がない。

#### 【池田副会長】

P T Aを引退したような皆さんに意見を出してもらうには、どうしたらよいか。北諏訪区ではどのようにしたのか。

#### 【中村センター長】

北諏訪区も保倉区も地域協議会だよりは、各戸配布である。先ほど、佐野宏委員も言われたが、まず、委員は委員で考える。それと併せて地域協議会だよりで若い人の意見を聞いてみようという2本立てで考えている。地域活性化の方向性とは、イベントを考えるのではなく、地域の魅力や特性を考えるのが方向性だと思っていただきたい。

#### 【池田副会長】

北諏訪区の3件というのは、年代的にはどうなのか。

#### 【千田主任】

50代が1件、70代が2件である。有田区は、30代、40代の方の回答もあった。

**【河瀬委員】**

アンケートは記名式か。

**【中村センター長】**

年代の記載だけである。

**【佐野宏委員】**

イベント等はまず考えないと言うが、イベントを頭に浮かべないと何をやりたいかが出てこないのではないか。アンケートで意見が出てきたとしても、そこからテーマをどうするか進まないのではないか。例えば、保倉区の魅力は田んぼだとして、イベント的なテーマがあるかというところまで止まってしまう。

**【中村センター長】**

イベントを念頭に置くというのも有りだと思う。例えば、保倉区の魅力は田んぼだと言ったときに田んぼを地域で協力できる体制を考えるということもあると思う。子ども達に田んぼを使った体験学習をするなど、まず、保倉の魅力を考えてもらえばよいのだと思う。もちろん、人との繋がるきっかけとしてのイベントもあるのかもしれないが、北諏訪区のとよりの裏面にもあるが、「自然に恵まれている」というのも純粹でよいと思う。

**【丸山会長】**

アンケートで募集して、多少でも意見があれば、また違った考えが出てくるのではないかな。アンケートを出すのであれば、もっと柔らかい文書で出して欲しいと思う。

**【宮崎委員】**

活性化させてほしいと言うが、住んでいる者にしてみたら、特に不満もない。小学校のPTAのアンケートによると8割の人が子どもだけの運動会で十分で、今まで続けていた地区の体育大会はやめてほしいという結果だったというから、何も困っていないのだと受け止めた。

**【河瀬委員】**

8割というのは、保護者である。子どもはどう思っているか。親は、煩わしいからやりたくないかもしれないが、子どもは未就学児や中学生も来ているがどうなのか。保護者と子どもの考えは違うのではないかな。

**【池田副会長】**

保護者は、「自分たちが参加するとなると段取りに追われて、自分の子どもが実際に走

ったり、踊ったりしている姿を見られない。それで、極端なことを言えば、段取りを他の人にしてもらって、自分たちは応援に専念したい」というような記事を新聞で読んだことがある。今回のアンケート結果だが、8割は反対で、2割のうち1割はどちらでもよい。もう1割は現状でもよいのではないかというものだったそうだが、地域と一緒によいという人が1割ただけでもよかったのではないかと思う。

**【佐野宏委員】**

地域協議会だよりで地域の皆さんの意見を募集し、地域協議会委員には、地区の魅力などに加えて地域が元気になるようなイベントも考えてもらい、地域から意見が何も出なかったときは、逆提案しないといけないと思うがどうか。

**【河瀬委員】**

地域協議会委員の意見は、12月25日発行のたよりに一緒に出す形にするのか。たよりを出すのであれば、一緒に掲載したほうが望ましいと思う。我々の意見は、日を決めて事務局へメールなりファックスで届ける形にしないと間に合わないのではないか。

**【中村センター長】**

1月25日発行の地域協議会だよりに掲載予定である。1月6日までに事務局に提出いただければ、掲載することは可能である。

**【宮崎委員】**

今までここで地域の課題について話してきた。地域協議会ではこういう協議をしているが、地域の皆さんはどう思うかという聞き方にしてはどうか。改めて委員に意見の記入を求められても出てこないと思う。

**【中村センター長】**

地域の課題ではなく、参考資料1の様式を記載することで12名いれば、何らかの意見は出るのではないか。

**【丸山会長】**

保倉区の進め方として、地域住民にアンケートをとるということでよいか。

(賛同の声)

合わせて地域協議会委員も事務局から届く様式の提出をお願いしたい。

**【池田副会長】**

佐野宏委員は、委員の皆さんには、どのようなイベントをしたら元気になるかの記入もお願いしたいということだった。

【佐野宏委員】

そこがはっきりしないと、書けと言われても難しい。正直、テーマは個人的にイベントを含めて保倉区の皆さんが若者から高齢者までできるものをいくつか考えてある。見ていただければ参考になると思うが、まずは、地域の皆さんの意見を確認し、そして、地域協議会の現状も確認する。段階を踏んでいってはどうか。

【中村センター長】

では、事務局で委員の記載様式を作成し後日、送付することとする。

【丸山会長】

次に「その他」について、事務局へ説明を求める。

【千田主任】

次回協議会は、1月下旬から2月上旬を考えている。日程は、会長と相談の上、決まり次第お知らせしたい。

【丸山会長】

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 北部まちづくりセンター

TEL : 025-531-1337

E-mail : hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。